



南高SSHだより

第9号
H27.11.2
新潟南高等学校
SSH部発行

SSC (スーパーサイエンスクラス) 夏の尾瀬研修

期日：平成27年8月22日(土)～8月23日(日) 一泊二日

場所：尾瀬沼、尾瀬ヶ原 (福島県、群馬県) 宿泊：長蔵小屋 (尾瀬沼畔)

1日目：8月22日(土)



写真左：お昼頃、沼山峠の登山口に到着。参加者は2年生6名、引率1名、計7名。
写真中：標高約1700m、亜高山の針葉樹林帯です。オオシラビソなどが優占します。
写真右：尾瀬沼大江湿原の入口。ニホンジカの侵入を防ぐための柵。シカの被害は深刻。



写真左：尾瀬沼畔、長蔵小屋到着。かつて尾瀬保護運動の中心となった歴史ある小屋。
写真中：ビジターセンターのレンジャーの方の案内で、45分ほど、自然観察会。
写真右：毒草トリカブト。夏の終わりで少し寂しかったですが、花々も咲いていました。
※夜はビジターセンターでスライドショー。その後、長蔵小屋の手作りプラネタリウムを見学し、少しロマンチックな気分。残念ながら、本当の星空は見えませんでした。

2日目：8月23日(日)



写真左：朝5時起床、6時朝食、7時出発。残念ながら、雨でした。
写真中：食虫植物ナガバノモウセンゴケ。ユケではありません。花の咲く被子植物です。
写真右：尾瀬ヶ原。高層湿原なので湿原が盛り上がっています。泥炭が1年1mm堆積。



写真左：尾瀬ヶ原は尾瀬沼より標高が低く約1400m、ブナが優占する夏緑樹林帯です。
写真中：課題研究で調べているヤナギトラノオの調査もできました。
写真右：雨です！残念ながら景色も生物も満足に観察できず、急いで帰りました。
※天候には恵まれませんでした。たくさん学べた充実した2日間でした。

3月には「スノーシューによる自然観察」も計画しています。多くの人の参加を待っています。